

菊池温泉

菊池温泉は、菊池市の東部に広がる温泉街で、8 つの温泉ホテル・旅館と、菊池公園の近くにある菊池観光協会がある。各温泉宿には 43～45℃に保たれた個性豊かなお風呂がある。温泉の泉質は透明でほとんど無臭、pH9.0 以上のアルカリ性だ。入浴後の肌は、化粧水を塗った後のようなヌルヌル・すべすべ感を感じることができる。場所によっては飲用も可能で、ホテルや旅館では料理に使っているところもある。日帰り入浴も可能で、1,500 円で 8 つの施設のうち 3 つを利用できる「周湯券」を購入することができる。

菊池市は 1950 年代に温泉が発見されたのをきっかけに、健康増進のためのリゾート地として発展してきた。江戸時代には、くじゅう連山の西側、現在の熊本県と大分県を結ぶ街道沿いの最後の主要な街として商業が栄えた。その流れは戦後まで続き、熊本県全域から菊池の商店街へ客が流れ、温泉街の発展にも繋がった。